国際ロータリークラブ　第2790地区　創立：1981年2月10日承認：1981年3月2日

柏南ロータリークラブ　会報

2026−2027　井畑　和士年度

Rotary

持続可能なインパクトを生み出そう

第47代会長 井畑　和士　　幹事　新保　貴

第2063回　2026年10月17日（土）・18日（土）　地区大会
第2064回　2026年10月29日（木）11グループラーニングセミナー

第2790地区 地区大会開催



10月17日（土）・18日（日）の2日間、国際ロータリー第２７９０地区の地区大会が開催されました。初日はホテル・ザ・マンハッタンにて、森島弘道ガバナーの挨拶、四宮孝郎RI理事の講演、各種報告や表彰が行われました。2日目は千葉JPFドームを会場に開催され、東京パラリンピック閉会式で演奏したピアニスト西川悟平氏によるオープニングセレモニーで華やかに幕を開けました。森島ガバナーの挨拶やロータリーファミリーの紹介に続き、千葉大学の横手幸太郎学長が「知の力で社会に貢献する」をテーマに基調講演。午後には各種表彰、ロータリー財団や米山記念奨学会等への寄付贈呈が行われました。大会終了後の大懇親会では、スポーツ車椅子レースや競輪選手によるデモ走行など、会員同士の交流を深める多彩な催しが企画され、ロータリーの友情と親睦を育む大会となりました。



四宮孝郎国際ロータリー理事による「ロータリーって愉しい！」と題した講演が行われました。講演では、世界的な会員数の地域格差や日本の少子高齢化を背景に、多様性を生かしたクラブ運営の必要性が示されました。また、魅力ある例会や奉仕活動、若い会員が活躍できる環境づくりの重要性が語られました。特に印象的だったのは、ロータリーの魅力を**「出会い・感動・友」**という3つの言葉で表現されたことです。異業種の人々との出会い、奉仕を通じた感動、そして生涯の友情こそがロータリーの真の価値であると強調されました。「ロータリーはあなたの人生を豊かにする場」。私たち柏南RCも、その愉しさを分かち合い、新たな仲間づくりにつなげていきたいと思います。

11グループラーニングセミナー
～仲間を増やし、仲間とともに楽しむロータリー～



10月29日（木）、ザ・クレストホテル柏において、柏東ロータリークラブをホストに、第11グループ6クラブによる合同例会・ラーニングセミナーが開催されました。合同例会では、髙本拓司ガバナー補佐の点鐘に続き、各クラブ会長が挨拶。それぞれのクラブ運営や奉仕活動について紹介がありました。

井畑会長は、今年度の目標である「会員純増10名」を掲げ、各クラブに入会候補者の紹介を呼びかけました。続くラーニングセミナーでは、地区ラーニングファシリテーターの寒郡茂樹パストガバナーが「クラブの活性化を考える」と題して講演されました。

講演では、日本のロータリーが抱える会員の高齢化と減少という課題について、具体的なデータを交えて解説されました。特に印象的だったのは、会員維持率が90%前後の場合、30名のクラブが会員を3名純増させるには、6名の新入会員が必要になるという指摘です。会員増強は、新しい仲間を迎えることと、今いる仲間に長く在籍してもらうことの両輪であると改めて認識しました。また、入会の決め手として多いのは「会員がフレンドリーで温かく歓迎してくれたこと」であり、活動を続ける大きな理由は「生涯の友人」ができることだと紹介されました。ゲストへの丁寧な対応、入会後のフォロー、メンター制度の活用など、会員一人ひとりが居場所を感じられるクラブづくりの重要性が強調されました。

その後、「クラブ活性化に繋がる会員増強」をテーマに、クラブの垣根を越えたテーブルディスカッションが行われました。当クラブの片岡達生会員もファシリテーターを務め、各クラブの取り組みや課題について活発な意見交換がなされました。片岡会員は、入会時の人柄の見極め、入会後のサポート体制、会員同士の交流や居場所づくりの大切さを紹介し、議論の結論を**「入った方を離さない」**という言葉に集約しました。まさに会員増強の本質を表す、印象深い言葉でした。最後に髙本ガバナー補佐から、会員卓話などを通じて互いの仕事や強みを知り、新しい会員の得意分野を生かし、ベテラン会員の経験を借りながら、若い会員の挑戦を応援することの大切さが語られました。「もっとロータリーを楽しもう、そこに素晴らしい仲間がいるから」この言葉を胸に、柏南RCとしても、会員純増10名という目標の達成だけでなく、誰もが参加することを楽しみにし、生涯の友人と出会えるクラブづくりを進めていきたいと思います。



